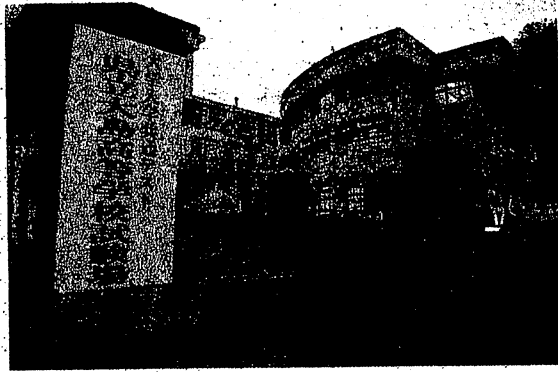


情報元：南海日日新聞社
日付：令和3年1月22日

初の共通テスト、お疲れさま！

1月も後半。みんなは元気に過ごしているかな？ 受験生のみんな、初めての大学入学共通テスト、お疲れさまでした。過去問題がない中で傾向をつかみ、対策を練るのは大変だったでしょう。受験会場となった県立大島高校から出てきた高校生が受験インタビューに答えています。



「文章力問われた感じ」

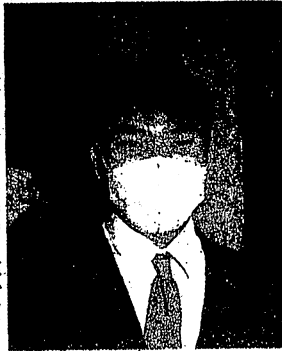
沖永良部高

白川徹君(18)

テストの難易度はめっちゃ変わるかもと心配をしていたが、変わった教科と変わらなかった教科と分かれた。英語と地理は難しくなっていたな。理系科目の化学や生物は、

文章力が問われた。

試験を終えて、心残りは…少しあるかな。今一番したいことは、親への連絡。宿に帰って「とりあえず終わって一安心したよ」って早く伝えたい。



2日目の全日程を終え、会場の外でガッツポーズをあげる白川君(17日、午後6時すぎ、県立大島高校)

「一安心」「難しい」さまざま

「模擬より難しい」

大島高 豊田さん、前川さん、神林さん、福田さん

英語のリスニングはめっちゃ難しくなっていた。いろんな国の訛りのある英語。4人がしゃべっているのを声で聞き分けられない。リーディングも時間が足りなかった。過去問もないから、新しいテストの傾向をつかむのは大変。練習の模擬テストより本番のほうが難しくなった感じ。でも、終わってほっとした。新型コロナウイルスのせいでほとんど学校行事はないけど、卒業式まで残された日々を大切に、友達と思い出してほしい。

「2次は島外、複雑な気分」

大島高 川畑凜夏さん(18)

化学は難しくなかったけど、やっていたことが箱埋めきたり良かった。大学入試はこれで一区切り。2次試験に向けて準備をしたい。共通試験の会場は腰痛が使われなかったのでもう寒かった。焦らず、とにかく文章をよく読んで、試験監督の言っていることをよく聞いて、落ち着いて対応することができた。2次は熊本県に行く予定。新型コロナウイルスの感染が拡大しているから、気分ですね。島外は渡航するのは複雑な

受験生にインタビュー



左から豊田裕花さん、前川帆乃香さん、神林美穂さん、福田華杏さん



大学共通テストを終え、ほっとする表情を見せる川畑さん(17日、奄美市名瀬)